

## 今回出された成績について 【人文社会系】

授業の難易度が④難しい、⑤難しすぎるが合計でCⅢ34.6%、CⅠ29.8%、BⅡ17.8%、と学年を上がるごとに高くなっていることに対して、出した成績は相対的に易化しているかもしれない。最も難しいと感じているCⅢにおいて週当たりの学習時間が他の科目に比べ最も多いので、成績にはその頑張りを認めたい。

「問1 この授業で、新しい考え方や知識・技能が身についた」において「①強くそう思う」「②ややそう思う」を合わせて、「AⅡ」97.9%、「BⅡ」93%、「CⅡ」100%、「CⅢ」100%、「CⅣ」100%とあり、「問10 この授業の教育目標が達成できたと思いますか」もほぼそれに近い数値となっていることから、授業の目標は達成されていると考えている。

各質問項目の結果を見ることにより、今回の授業の反省点、次回の授業に向けての改善点等が明らかになりました。

授業の内容もテーマも難しく、授業の中でもディスカッションに加え、課題や発表をやり遂げることは、受講生にとってかなりハードだったと思います。それでも、最後まで真摯に取り組み、力をつけていってくれたことは、本当に頼もしく、ありがたく感じました。今回出した成績は、受講生の努力が反映されていると思います。

評価は小テスト五回分のみを出題範囲とした試験と提出物(800字の教材観)とによる。試験は出題範囲を限った到達度評価的なものであり、各人の努力が明確に反映されている。提出物も下書きを一度提出させ、書き方についても実例を用いて指導した。理想的には、個別に指導ができればよいのだが。

・反省点も多く、自らの指導を振り返ることができるよい機会となった。

全員がA以上の成績に精一杯支援、指導することが教員の責務だと思っています。怠けている学生に点を与えることはしませんが、頑張った学生にはそれなりの評価をします。

・教育実習直後の国語科3年生ということで、授業づくりの難しさややりがいを感じていたもので、どの学生も真摯に臨んでいる姿があった。  
・現行学習指導要領では、「習得」と「活用」を大切にしているが、「教え定着させること」と「個性的に応用していくこと」の区別について、学生にもっと明確に意識させさせたい。  
・意見をまとめたり、感想を書いたりする活動に対して、大変成長した学生が多かった。

出席を重視しています。

成績に関して、シラバスにも記載しているように、地域調査、そのプレゼンテーション、レポート、課題提出状況、授業態度などを勘案して、総合的に評価している。定期考査で評価するのではなく、地域調査、課題、日ごろの学習意欲などを基に総合的に評価することを心掛けています。課題についても、できる限り負担が大きくならないように、配慮したつもりです。

成績に関して、シラバスにも記載しているように、町歩き、そのプレゼンテーション、レポート、課題提出状況、授業態度などを勘案して、総合的に評価している。定期考査で評価するのではなく、町歩き、課題、日ごろの学習意欲などを基に総合的に評価することを心掛けています。課題についても、できる限り大きな負担にならないように配慮したつもりです。

・本講義は、20名の受講者であり、意欲的な学生さんが多く、気持ちよく授業をすることができ、感謝している。

・毎回のワークシートを読むと、学生たちが熱心に取り組んでいたことが伝わってきた。試験の答案も、とてもすばらしいものが多く、妥当な成績であったと考えている。

授業時の提出物、課題、レポート、書写の実技などを総合しての評価でしたが、授業の取り組みにおける意欲が成績に出るため、上位層と下位層にかなり開きが出てしまいました。

一人ひとりの技量アップを図る内容だが、それぞれが別々の内容で実施したので評価は難しかった。

全体的に悪くはないですので、今後さらによりよいものにしていければと思います。

前期に比べて、出席ポイントを40%から20%に減じた。その分、レポートと毎時の記述・考察内容の比重を高くした。そのことにより、学生の発想や視点の良さ、努力した点等を細かく評価することができて、適切な評価ができたのではないかと思う。